

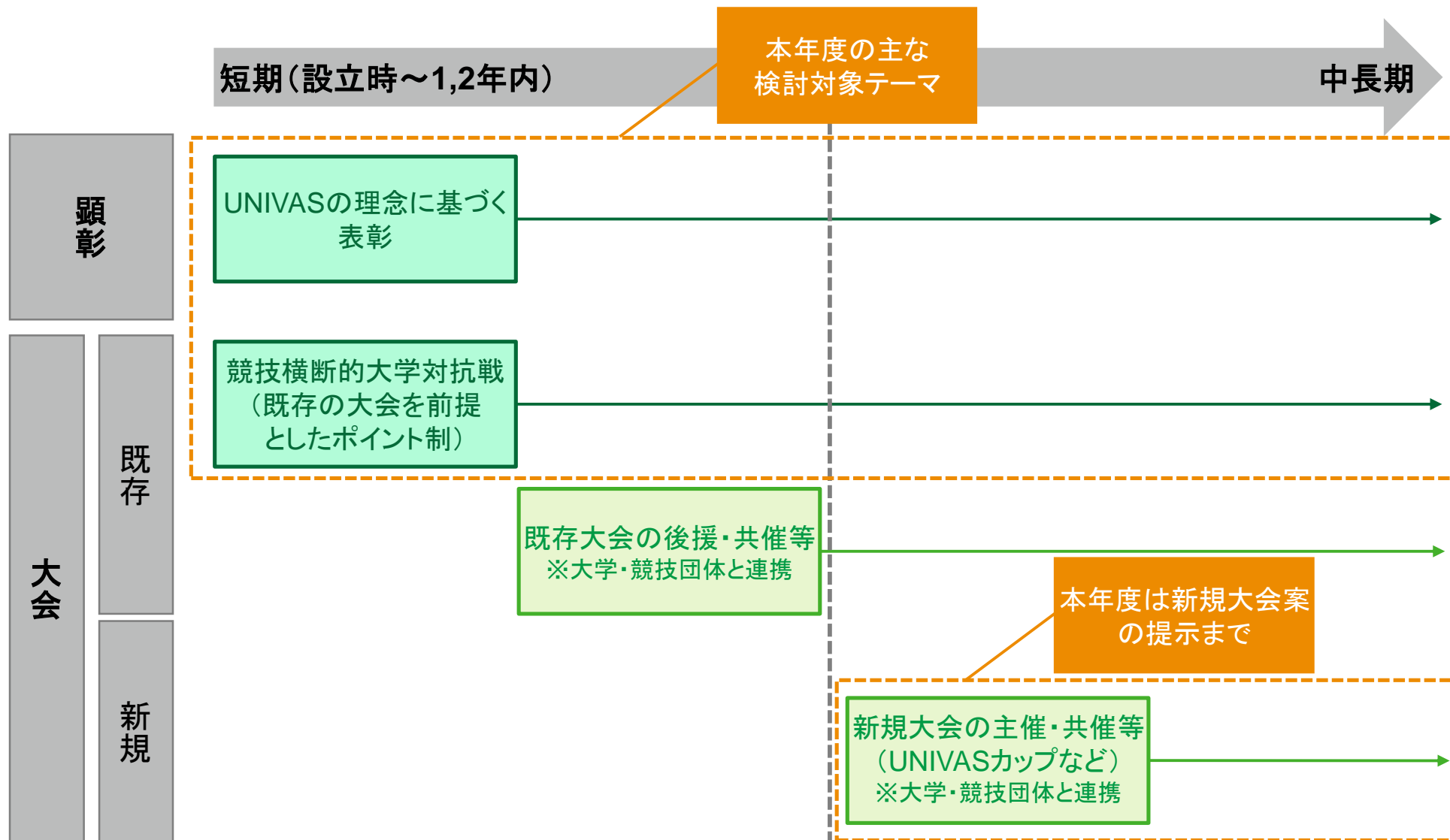
# テーマ9 大会・顕彰制度案（素案）

テーマ9 大会レギュレーションの整備

2018年11月5日（月）

# 1-(1). UNIVASにおける大会・顕彰制度整備の進め方

本年度においては、短期的な取組みとして、主に、UNIVASの理念に基づく顕彰制度と既存の大会を前提とした競技横断的の大学対抗戦のレギュレーション整備を進める。



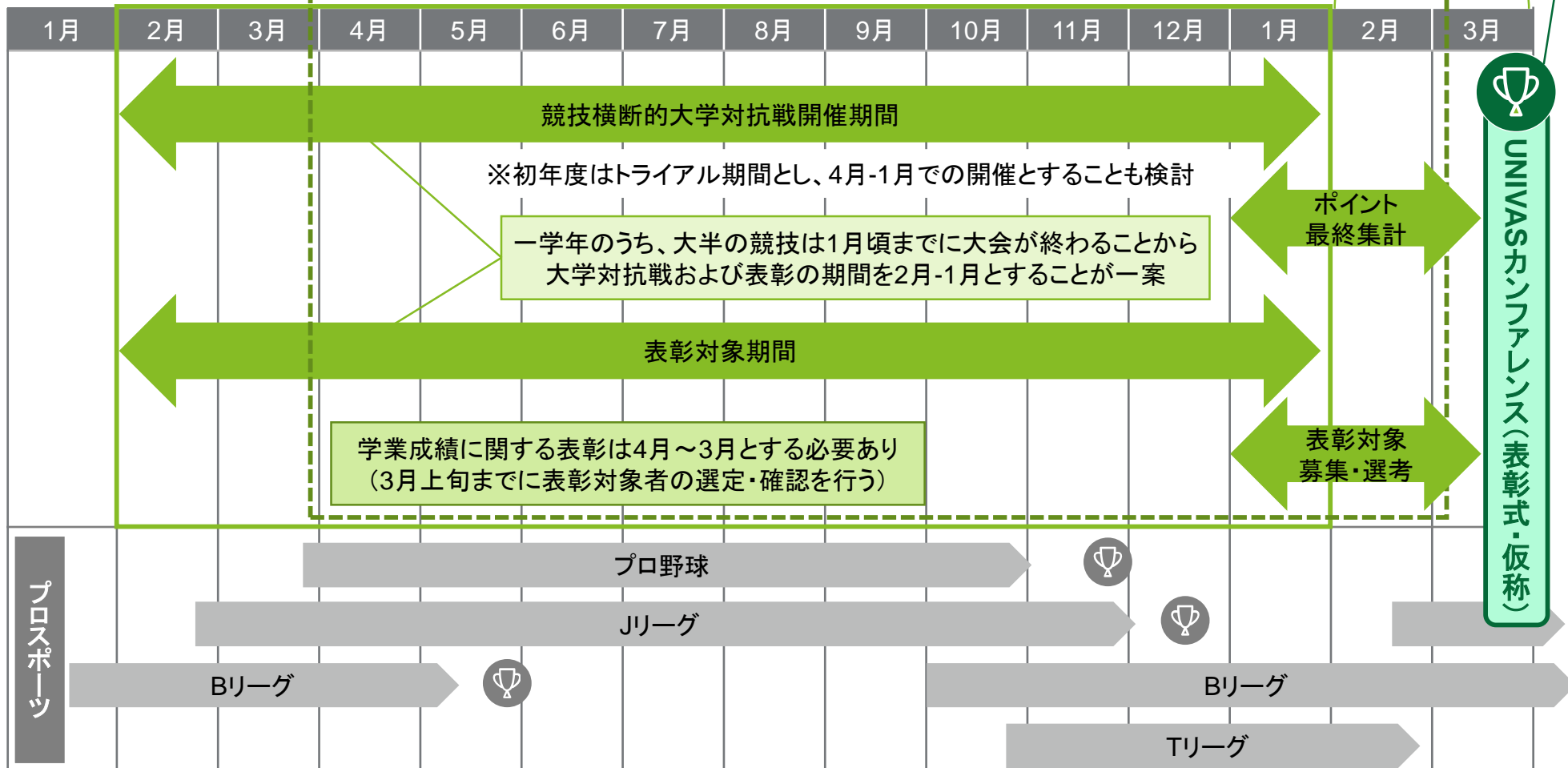
# 1-(2). 大会・顕彰に関する年間スケジュール(案)

各学連(NF)における大会の開催日程や卒業のタイミング、また一年を通じた話題提供を考慮し、競技横断的の大学対抗戦や表彰対象とする期間を2月から1月までとし、表彰式を3月に開催することを一案とする。

最も大学・プロスポーツに関する話題の少ない時期、かつ卒業生の卒業前のタイミングにて表彰式を開催することが理想的

卒業式が集中する3/25に開催することが一案

## 年間スケジュール案



## 2-(1). 顕彰制度案－顕彰制度の概要(案) (ver1.3)

### 表彰の 目的

- 顕彰制度・表彰式を通じて、UNIVASの理念の実現を後押しする
  - ✓ 学生スポーツにおける学生アスリート・大学・競技団体等各関係者のあるべき姿・目指すべき姿を示す
  - ✓ 加盟大学のブランディング(認知度向上、イメージ向上)に寄与する
  - ✓ 加盟競技団体の競技の認知度向上・普及に寄与する
  - ✓ (賞を通じて大学スポーツの環境整備に寄与する)

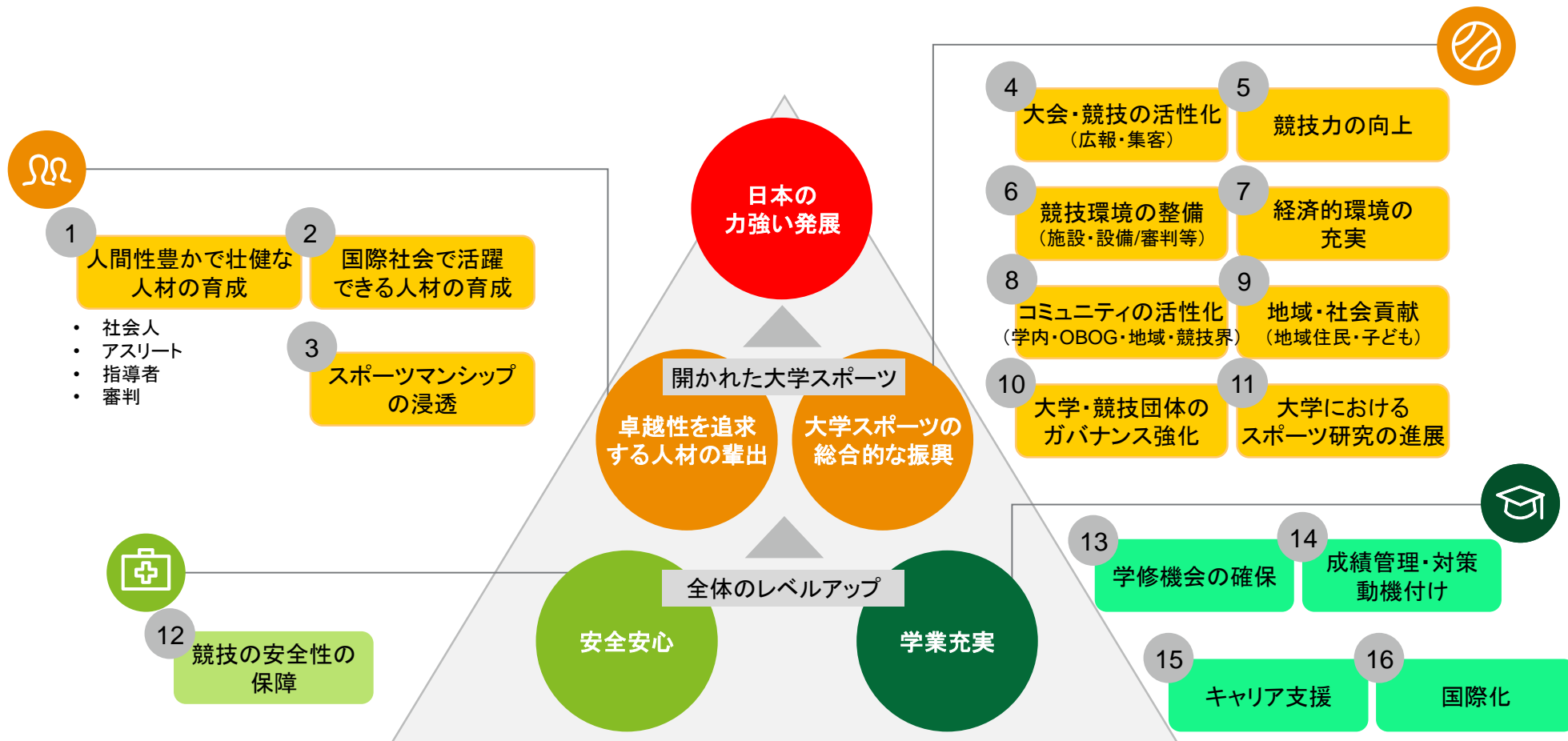
### 検討すべき事項

#	要検討項目	検討の方向性・今後の対応事項
1	表彰対象とする取組の範囲	競技内外問わず、理念の実現に資する取組をすべて表彰対象とする
2	具体的表彰項目	※2-(3)参照 表彰対象候補案の絞り込み・選定を行う
3	選考対象期間・ 表彰式の開催時期	※1-(2)参照
4	選考方法・機関	※2-(4)参照
5	表彰特典・賞品	※2-(4)参照 奨学金・施設整備助成等学生・大学・競技団体等にどの程度魅力的な特典を提供できるかについては、事業規模に応じて検討する
6	表彰対象者の範囲	※2-(5)参照
7	スポンサー (ネーミングライツ含む)	表彰式全体を対象としたスポンサー、個別表彰項目を対象としたスポンサー等について検討する (テーマ14と連携する)
8	表彰式の開催方法	詳細は来年度の検討事項とする
9	アンバサダーの設置	※2-(6)参照 UNIVASの理念・事業・取組や大会等の広報を目的としたアンバサダーの設置を検討する

## 2-(2). 顕彰制度案－ 設立理念の整理 (ver1.3)

定款目的  
(最新案)

この法人は、**大学スポーツを総合的に振興**し、学生の誰もが**学業を充実**させながら**安全に**競技スポーツを実践するための基盤的環境を整備するとともに、地域に根差す大学スポーツの多様な価値を高め、**我が国の力強い発展**と**卓越性を追求する人材の輩出**に寄与することを目的とする。



**UNIVASの理念の実現を後押しする顕彰制度を設計する**

## 2-(3). 顕彰制度案－ 設立当初からの表彰対象候補(案)(ver1.3)

表彰対象候補の中から、設立理念等に照らして優先順位付けを行い、設立当初からの表彰対象項目を絞り込んでいく。

### 設立当初からの表彰候補案

※表彰対象者(個人・団体)は1名/団体に限らないこととする

#	表彰項目案	内容	表彰対象者	候補者の抽出方法	理念との関連
1	Academic Opportunity Award	学修機会の確保に関する先進的取組事例を表彰	大学(AD局)・指導者・競技団体	申請(自・他薦)	学修機会の確保
2	Best Scholar-Athlete Award	文武両道を実践する模範となる運動部学生を表彰(競技成績上位+GPAや履修単位数の基準など) ※テーマ③で検討	学生個人	学業成績 競技成績	成績管理・対策 動機付け
3	Academic Support Award	成績管理・対策に関する先進的取組事例を表彰	大学(AD局)	申請(自・他薦)	〃
4	Great Alumni Award	社会で現役運動部学生の模範となるようなキャリアを形成しているOB・OGを表彰	OB・OG	申請(推薦)	キャリア支援
5	Safety Award	安全対策に関する先進的取組事例を表彰	大学(AD局)・指導者・競技団体	申請(自・他薦)	競技の安全性の保障
6	Sportsmanship Award	スポーツマンシップあふれる模範となるプレー・取組みを表彰	運動部・学生個人	申請(推薦)	スポーツマンシップの浸透
7	College of the Year	競技横断的の大学対抗戦における年間総合ポイント上位の大学を表彰	大学	競技成績	大会・競技の活性化 競技力の向上
8	Sportsperson of the Year	年間通じて卓越した競技成績を残した運動部および運動部学生個人を表彰 ※テーマ③で検討	運動部・学生個人	競技成績	大会・競技の活性化 競技力の向上
9	Best Promotion Award /Best Idea Award	大会・競技の普及や活性化、集客・応援促進のための大会プロモーションに関する優良取組事例を表彰	競技団体・大学(AD局)・運動部	申請(自・他薦)	大会・競技の活性化 競技力の向上
10	Athletic Department Award /Contribution Award	地域・社会貢献活動、会計の透明性確保、スポンサーとの連携、試合情報の管理・発信、キャリア支援等大学スポーツ振興に向けた各種の優良取組事例を表彰	大学(AD局) SA個人	申請(自・他薦)	大学・競技団体のガバナンス強化 コミュニティの活性化 地域・社会貢献

上記表彰候補項目のほか、パラアスリートや女性アスリートを対象とした表彰項目を個別に設けるかどうかにつき検討する。

(パラアスリートの表彰に際しては、日本障がい者スポーツ協会に表彰対象者の選定を依頼することを想定)

## 2-(4). 顕彰制度案－個別顕彰制度(案)①(ver1.3)

### 1. Academic Opportunity Award <学修機会の確保のための取組み>

内容	学修機会の確保に関する先進的取組事例を表彰
対象者・対象団体	①大学(AD局)・指導者、②競技団体(学連・NF)
着眼点	① 大学(AD局)・指導者: 練習時間の削減と学習時間の確保に関する取組事例 ② 競技団体: 平日の試合開催を減らす取組事例
表彰対象候補者・団体の決定方法	a. 毎年、一定の時期に自薦もしくは他薦により、先進的取組事例を募集する。 b. 自薦/他薦のあった事例の中から、UNIVAS表彰委員会内の選考委員の投票により、表彰対象取組・団体を決定する。
表彰特典	記念盾・賞状等 → 事業規模に応じ、助成・奨学金等への拡大も想定
スポンサー候補	リクルート・教育関連企業

### 2. Best Student-Athlete Award <文武両道を実践する模範的な運動部学生>

テーマ③で検討中

### 3. Academic Support Award <成績管理・対策に関する取組み>

内容	成績管理・対策に関する先進的取組事例を表彰
対象者・対象団体	大学(AD局)
着眼点	文武両道を促進するような大学による取組事例
表彰対象候補者・団体の決定方法	a. 毎年、一定の時期に自薦もしくは他薦により、先進的取組事例を募集する。 b. 自薦/他薦のあった事例の中から、UNIVAS表彰委員会内の選考委員の投票により、表彰対象取組・団体を決定する。
表彰特典	記念盾・賞状等 → 事業規模に応じ、助成・奨学金等への拡大も想定
スポンサー候補	リクルート・教育関連企業

## 2-(4). 顕彰制度案－ 個別顕彰制度(案)②(ver1.3)

### 4. Great Alumni Award <現役運動部学生の模範となるOB・OG>

内容	社会で現役運動部学生の模範となるようなキャリアを形成しているOB・OGを表彰
対象者・対象団体	OB・OG
着眼点	表彰期間内に行われたOB・OGによる社会・地域や大学への貢献となる取組事例
表彰対象候補者・団体の決定方法	a. 毎年、一定の時期に推薦により、現役運動部学生の模範となる取組みを行っているOB・OGを募集する。 b. 推薦された候補者の中から、UNIVAS表彰委員会内の選考委員の投票により、表彰対象とするOB・OGを決定する。
表彰特典	記念盾・賞状等 →事業規模に応じ、助成・奨学金等への拡大も想定
スポンサー候補	リクルート・教育関連企業

### 5. Safety Award <安全対策に関する取組み>

内容	安全対策に関する先進的取組事例を表彰
対象者・対象団体	①大学(AD局)・指導者、②競技団体
着眼点	① 大学(AD局)・指導者:主に通常の練習時の安全対策に係る取組事例 ② 競技団体:主に大会開催時の安全対策に係る取組事例
表彰対象候補者・団体の決定方法	a. 毎年、一定の時期に自薦もしくは他薦により、先進的取組事例を募集する。 b. 自薦/他薦のあった事例の中から、UNIVAS表彰委員会内の選考委員の投票により、表彰対象取組・団体(もしくは個人)を決定する。
表彰特典	記念盾・賞状等 →事業規模に応じ、助成・奨学金等への拡大も想定
スポンサー候補	保険会社



## 2-(4). 顕彰制度案－ 個別顕彰制度(案)③(ver1.3)

### 6. Sportsmanship Award <スポーツマンシップが体现されたプレー・取組み>

内容	スポーツマンシップあふれる模範となるプレー・振る舞いを表彰
対象者・対象団体	運動部・学生個人
着眼点	大会におけるプレー・振る舞いを対象とする(スポーツマンシップ講習等とセットで実施していくことが肝要)
表彰対象候補者・団体の決定方法	a. 毎年、一定の時期に推薦により、スポーツマンシップが体现されたプレー・振る舞い事例を募集する。 b. 推薦された事例の中から、UNIVAS表彰委員会内の選考委員の投票により、表彰対象を決定する。
表彰特典	記念盾・賞状等 →事業規模に応じ、助成・奨学金等への拡大も想定
スポンサー候補	全般

### 7. College of the Year <競技横断的の大学対抗戦における成績優秀大学>

内容	競技横断的の大学対抗戦における年間総合ポイント上位の大学を表彰
対象者・対象団体	大学
着眼点	国立・私立等の形態や学生・運動部活動の数等に応じ、複数の表彰カテゴリーを設けることも要検討
表彰対象候補者・団体の決定方法	年間総合ポイントの上位大学
表彰特典	賞状・記念品 →UNIVASの予算状況に応じ、団体の施設整備等活動への助成も想定
スポンサー候補	全般

### 8. Sportsperson of the Year <卓越した競技成績を残した運動部・運動部学生>

テーマ③で検討中

## 2-(4). 顕彰制度案－個別顕彰制度(案)④(ver1.3)

### 9. Best Promotion Award／Best Idea Award <大会のプロモーションに関する取組み>

内容	大会・競技の普及や活性化、集客・応援促進のための大会プロモーションに関する優良取組事例を表彰
対象者・対象団体	①競技団体、②大学・運動部
着眼点	① 競技団体：競技の普及や大会の集客・応援促進に資するようなHP・SNS・試合会場等を通じた取組事例 ② 大学(AD局)・運動部：学内(運動部学生、一般学生、教職員)、OB・OG、地域に向けた応援促進に資するようなHP・SNS・学内イベント等を通じた取組事例
表彰対象候補者・団体の決定方法	a. 毎年、一定の時期に自薦もしくは他薦により、先進的取組事例を募集する。 b. 自薦/他薦のあった事例の中から、UNIVAS表彰委員会内の選考委員の投票により、表彰対象取組・団体を決定する。
表彰特典	賞状・記念品 →パートナー・スポンサーの状況に応じ、団体の施設整備等活動への助成も検討
スポンサー候補	全般

### 10. Athletic Department Award <大学スポーツ振興に向けた大学による各種取組み>

内容	大学スポーツ振興に向けた大学(スポーツ統括部局)による各種の優良取組事例を表彰
着眼点	大学スポーツ振興に資する大学(AD局)もしくはSAによる下記のような取組事例 ▶ 地域・社会貢献活動 ▶ 会計の透明性確保 ▶ スポンサーとの連携 ▶ 試合情報の管理・発信 ▶ キャリア支援 等
対象者・対象団体	大学(AD局)、SA個人
表彰対象候補者・団体の決定方法	a. 毎年、一定の時期に自薦もしくは他薦により、優良取組事例を募集する。 b. 自薦/他薦のあった事例の中から、UNIVAS表彰委員会内の選考委員の投票により、表彰対象取組・団体を決定する。
表彰特典	記念盾・賞状等 →事業規模に応じ、助成・奨学金等への拡大も想定
スポンサー候補	全般

## 2-(5). 顕彰制度案－表彰対象者の範囲(ver1.3)

大学・中央学連の加盟/非加盟の状況に応じて、表彰対象者の範囲をどのように設定するかについて整理しておく必要がある。

### 大学・学連の加盟/非加盟に応じた表彰対象範囲の設定によるメリット・デメリット

大学	(中央)学連	メリット	デメリット
加盟のみ表彰	加盟のみ表彰	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 顕彰制度がUNIVAS加盟のインセンティブなり、加盟を促すことができる</li> <li>・ 表彰対象者のプロフィールや競技成績など正確な情報が得られやすい</li> <li>・ 学長や連盟理事などのコメントを得られやすい</li> <li>・ 広報宣伝上の制約が少ない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 表彰対象者の範囲が狭まってしまうことで、一定規模の大学・競技が加盟しないと顕彰制度が盛り上がらない可能性がある</li> <li>・ 特に、加盟大学の運動部であるものの、非加盟競技である場合、所属する学生の参加意識が希薄化する可能性がある</li> </ul>
加盟のみ表彰	非加盟含み表彰	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 非加盟競技に属する運動部・学生の参加意識を促すことができる</li> <li>・ 非加盟競技が強い大学の加盟を促すことができる</li> <li>・ 加盟大学が対象のため、学長などのコメントを得られやすい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ UNIVASの理念に賛同しない学連が表彰対象となる可能性がある</li> <li>・ 非加盟競技の競技成績などの正確な情報収集が難しい</li> <li>・ 非加盟競技の対象範囲設定が難しい</li> </ul>
非加盟含み表彰	加盟のみ表彰	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 加盟・非加盟問わず、すべての大学を表彰対象とすることができるため注目度は高いものとなる可能性がある</li> <li>・ 非加盟大学のOB・OGが世界的大会などで活躍した場合に表彰しやすい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ UNIVASの理念に賛同しない大学が表彰対象となる可能性がある</li> <li>・ 非加盟大学の場合、報道などでの取り扱いが難しい(大学名を公表しないなどは現実的でない)</li> <li>・ 非加盟大学の学業成績などの正確な情報把握が難しい</li> </ul>

## 2-(6). UNIVASアンバサダー候補者(例)(ver1.3)

UNIVASの理念・事業・取組や大会・表彰等の広報を目的としたアンバサダーの設置も検討していく。  
文武両道を実践した学生アスリートの模範となるような、若くて著名なアスリートが望ましいと考えられる。

### UNIVASのアンバサダー候補者例

#	名前	年齢	競技	所属クラブ・企業(現時点/引退前)	出身大学	備考
1	久木田 紳吾	30	サッカー	ザスパクサツ群馬(J3)	東京大学(工学部)	初の東大卒Jリーガー
2	岩政 大樹	36	サッカー	東京ユナイテッドFC(関東1部リーグ)	東京学芸大学(教育学部)	代表経験あり
3	武藤 嘉紀	26	サッカー	ニューカッスル・ユナイテッドFC(プレ)	慶応義塾大学(経済学部)	代表経験あり、Jリーグ、フンデスリーガ、プレミアリーグ経験
4	中町 公祐	33	サッカー	横浜Fマリノス	慶応義塾大学(総合政策学部)	大学入学と同時にJリーグ入団、その後体育会サッカー部を経て、再度Jリーグ入団
5	長友 佑都	32	サッカー	ガラタサライSK(スュペル・リグ)	明治大学(政治経済学部)	代表経験あり、Jリーグ、セリエA経験
6	安藤 梢	36	サッカー	浦和レッズレディース	筑波大学	ドイツリーグ経験あり、W杯優勝メンバー、博士号取得
7	瀬戸 大也	24	水泳	全日本空輸	早稲田大学(スポーツ科学部)	五輪銅メダリスト
8	萩野 公介	24	水泳	ブリヂストン	東洋大学(文学部)	五輪金メダリスト
9	坂井 聖人	23	水泳	セイコーホールディングス	早稲田大学(スポーツ科学部)	五輪銀メダリスト
10	入江 陵介	28	水泳	イトマン東進	近畿大学(法学部)	五輪銀メダリスト
11	北島 康介	35	水泳	日本コカ・コーラ	日本体育大学(体育学部)	五輪金メダリスト、水泳協会副会長
12	福谷 浩司	27	野球	中日ドラゴンズ	慶応義塾大学(理工学部)	学部の範と範を超える活躍をした学生に贈られる「藤原賞」を受賞
13	斎藤 佑樹	30	野球	北海道日本ハムファイターズ	早稲田大学(教育学部)	4球団からドラフト1位指名
14	有原 航平	26	野球	北海道日本ハムファイターズ	早稲田大学(スポーツ科学部)	4球団からドラフト1位指名
15	岡田 優介	34	バスケット	京都ハンナリーズ	青山学院大学(国際政治経済学部)	大学卒業後公認会計士試験合格
16	竹内 公輔	33	バスケット	リンク栃木ブレックス	慶応義塾大学(総合政策学部)	インカレ優勝、ユニバーシアード代表
17	田中 大貴	27	バスケット	アルバルク東京	東海大学(体育学部)	インカレ優勝、ユニバーシアード代表
18	比江島 慎	28	バスケット	プリズベン・パレット(オーストラリア)	青山学院大学	インカレ優勝、ユニバーシアード代表
19	五郎丸 歩	32	ラグビー	ヤマハ発動機	早稲田大学(スポーツ科学部)	元日本代表、全国大学選手権優勝、海外リーグ経験あり
20	畠山 健介	33	ラグビー	サントリーサンゴリアス	早稲田大学(スポーツ科学部)	元日本代表、全国大学選手権優勝、海外リーグ経験あり
21	田中 史朗	33	ラグビー	パナソニックワイルドナイツ	京都産業大学	日本代表、海外リーグ経験あり
22	山田 章仁	33	ラグビー	パナソニックワイルドナイツ	慶応義塾大学(総合政策学部)	日本代表
23	田村 優	29	ラグビー	キヤノンイーグルス	明治大学(文学部)	日本代表
24	山縣 亮太	26	陸上	セイコーホールディングス	慶応義塾大学(総合政策学部)	リオリレー銀メダル
25	桐生 祥秀	22	陸上	日本生命	東洋大学(法学部)	リオリレー銀メダル
26	ケンブリッジ 飛鳥	25	陸上	ナイキ	日本大学(文理学部)	リオリレー銀メダル
27	大迫 傑	27	陸上	ナイキ・オレゴン・プロジェクト	早稲田大学(スポーツ科学部)	ユニバーシアード1万m優勝、箱根駅伝区間賞、優勝、五輪出場
28	設楽 悠太	26	陸上	Honda	東洋大学(経済学部)	箱根駅伝出場、2018東京マラソンで日本記録を更新、五輪出場
29	柏原 竜二	29	陸上	富士通	東洋大学(経済学部)	箱根駅伝4年連続区間賞、2017引退
30	窪伏 広治	43	陸上	ミスノール東京医科歯科大学(教授)	中央大学(体育学部)	五輪金メダリスト、2016引退済
31	鈴木 亜由子	27	陸上	日本郵政グループ	名古屋大学	長距離、リオ五輪出場
32	木村 文子	30	陸上	エディオン	横浜国立大学(教育人間科学部)	ハードル、ロンドン五輪出場
33	紫村 仁美	27	陸上	東邦銀行	早稲田大学(スポーツ科学部)	ハードル、インカレ2度優勝
34	岡田 久美子	26	陸上	ビックカラ	立教大学(社会学部)	競歩、リオ五輪出場
35	渡部 咲斗	30	スキー	北野建設	早稲田大学(スポーツ科学部)	五輪銀メダリスト
36	原 大智	20	スキー	日本大学	日本大学(スポーツ科学部)	五輪銅メダリスト、在学中
37	高梨 沙羅	22	スキー	クラレ	日本体育大学(体育学部)	五輪銅メダリスト、飛び入学
38	平野 歩夢	19	スノーボード	木下グループ	日本大学(スポーツ科学部)	五輪銀メダリスト、在学中
39	小平 奈緒	32	スケート	相澤病院	信州大学(教育学部)	五輪金メダリスト、大学から履修の配慮を届け、3年に卒業
40	高木 美帆	24	スケート	日本体育大学(助手)	日本体育大学(体育学部)	五輪金メダリスト
41	羽生 結弦	23	フィギュア	全日本空輸	早稲田大学(人間科学部(通信教育課程 eスクール))	五輪金メダリスト、在学中
42	宇野 昌磨	20	フィギュア	トヨタ自動車	中央大学(スポーツ科学部)	五輪銅メダリスト、在学中
43	高橋 大輔	32	フィギュア	関大KFSC	関西大学(文学部)	五輪銅メダリスト
44	宮原 知子	20	フィギュア	関西大学	関西大学(文学部)	五輪4位、在学中
45	荒川 静香	36	フィギュア	プリンスホテル	早稲田大学(教育学部)	五輪金メダリスト、2006アマ引退、プロ転向
46	浅田 真央	28	フィギュア	中央大学	中央大学(体育学部)	五輪銀メダリスト、2017アマ引退、プロ転向
47	安藤 美姫	30	フィギュア	トヨタ自動車	中央大学(体育学部)	五輪出場、世界選手権金メダル、2013アマ引退、プロ転向
48	内村 航平	29	体操	リンガーハット	日本体育大学(体育学部)	五輪金メダリスト(団体、個人いづれも)
49	白井 健三	22	体操	日本体育大学	日本体育大学(体育学部)	五輪金メダリスト(団体)、在学中
50	登坂 絵莉	25	レスリング	東新住建	至学館大学(健康科学部)	五輪金メダリスト
51	川井 梨紗子	23	レスリング	ジャパンビバレッジ	至学館大学(健康科学部)	五輪金メダリスト
52	土性 沙羅	23	レスリング	東新住建	至学館大学(健康科学部)	五輪金メダリスト
53	伊調 馨	34	レスリング	ALSOK	至学館大学(健康科学部)	五輪金メダリスト
54	吉田 沙保里	36	レスリング	YSW	至学館大学(健康科学部)	五輪金メダリスト、指導者としても活躍
55	ペイカー 茉秋	24	柔道	JRA	東海大学(体育学部)	五輪金メダリスト
56	大野 将平	26	柔道	旭化成	天理大学大学院(体育学研究科)	五輪金メダリスト
57	田中 大 遥	28	柔道	ALSOK	東海大学(体育学部)	五輪金メダリスト、2017引退済
58	水谷 隼	29	卓球	木下グループ	明治大学(政治経済学部)	五輪銀メダリスト(団体)
59	丹羽 孝希	24	卓球	スウェーデン	明治大学(政治経済学部)	五輪銀メダリスト(団体)
60	福原 愛	29	卓球	全日本空輸	早稲田大学(スポーツ科学部)中退	五輪銅メダリスト(団体)
61	佐藤 美弥	28	バレー	日立リヴァレレ	嘉悦大学	女子バレーボール日本代表
62	内瀬 真実	26	バレー	トヨタ車体クインシーズ	鹿屋体育大学	女子バレーボール日本代表
63	今村 優香	25	バレー	久光製薬スプリングス	青山学院大学(文学部)	日本代表、ユニバーシアード代表の主力(銀メダル)
64	井上 愛里沙	23	バレー	久光製薬スプリングス	筑波大学	日本代表、ユニバーシアード代表の主力(銀メダル)
65	中川 有美	24	バレー	東レ・アローズ	中央大学	女子バレーボール日本代表
66	小幡 真子	26	バレー	JTマーヴェラス	日本体育大学	女子バレーボール日本代表
67	山岸 あかね	27	バレー	埼玉上尾メディックス	東海大学	女子バレーボール日本代表、ユニバーシアード5位
68	柳田 将洋	26	バレー	Cuprum Lubin(ポーランド)	慶応義塾大学(環境情報学部)	男子バレーボール日本代表、主将
69	清水 邦広	32	バレー	パナソニック・パンサーズ	東海大学	男子バレーボール日本代表
70	傳田 亮太	27	バレー	豊田合成トフェルサ	中央大学	男子バレーボール日本代表
71	堀江 友裕	21	バレー	早稲田大学	早稲田大学(スポーツ科学部)	男子バレーボール日本代表、在学中
72	本間 隆太	27	バレー	ジェイテクト	早稲田大学(スポーツ科学部)	男子バレーボール日本代表
73	櫻村 大仁	19	バレー	慶応義塾大学	慶応義塾大学(環境情報学部)	男子バレーボール日本代表、在学中
74	都築 仁	19	バレー	中央大学	中央大学	男子バレーボール日本代表、在学中
75	東江 雄斗	25	ハンド	大同特殊鋼	早稲田大学(スポーツ科学部)	男子ハンドボール日本代表
76	吉野 崇	24	ハンド	トヨタ車体	明治大学(政治経済学部)	男子ハンドボール日本代表
77	杉岡 尚樹	24	ハンド	トヨタ車体	中央大学	男子ハンドボール日本代表
78	松山 英樹	26	ゴルフ	レクサス(トヨタ自動車)	東北福祉大学	PGAツアー優勝経験あり
79	池田 勇太	32	ゴルフ	日清食品ヨーロッパ	東北福祉大学	日本ツアー2回優勝
80	今平 周吾	26	ゴルフ	レオパレスリゾート・グナム	東京国際大学	日本ツアー1回優勝

※テーマ13と連携して検討を進める

# 【ご参考】顕彰制度案－表彰対象候補(案)①(ver1.3)

UNIVASの理念に照らして、候補として考えられる表彰対象項目案は以下のとおり。

## 15テーマに関連する表彰項目案 <学業充実関連>

#	テーマ	主査	表彰対象項目	表彰案	内容	対象者	スポンサー	理念との関連 ※2-(2)参照
①	入学前からの動機付け	伊坂様	1 入学前からの取組促進	先進的取組事例に対する表彰	入学前からの動機付けに関する大学による先進的取組事例を表彰	大学 (AD局)	リクルート・教育	1,13
②	学修機会の確保	小林勝様	2 授業への出席率向上/出席できない場合の対応	先進的取組事例に対する表彰	学修機会の確保に関する大学による先進的取組事例を表彰	大学 (AD局)	リクルート・教育	1,13
〃	〃	〃	3 学習時間を確保する取組	先進的取組事例に対する表彰	練習時間の削減と学習時間の確保に関する取組を表彰	大学 (AD局)	リクルート・教育	1,13
〃	〃	〃	4 〃	先進的取組事例に対する表彰	平日の試合開催を減らす取組を表彰	競技団体	リクルート・教育	1,13
③	成績管理・対策、さらなる動機付け	友添様	5 文武両道の推進	先進的取組事例に対する表彰／モデル学生アスリート	成績管理・対策に関する大学による先進的取組事例を表彰／文武両道を実践する模範となる学生アスリートを表彰	大学・学生個人	リクルート・教育	1,14
〃	〃	〃	6 〃	優秀選手・大学	例えば、競技成績上位3位以内+GPAや履修単位数の基準による表彰	大学・学生個人・指導者	リクルート・教育	1,14
④	キャリア支援	藤本様	7 キャリアの選択肢の提示	モデルOBOG	社会で現役学生の模範となるようなキャリアを形成しているOBOGを表彰	OBOG	リクルート・教育・旅行	1,15

## 【ご参考】顕彰制度案－表彰対象候補(案)②(ver1.3)

UNIVASの理念に照らして、候補として考えられる表彰対象項目案は以下のとおり。

### 15テーマに関連する表彰項目案 <安全安心・医科学関連>

#	テーマ	主査	表彰対象項目	表彰案	内容	対象者	スポンサー	理念との関連 ※2-(2)参照
⑤	事故情報の集約化	川原様	8 事故情報の集約徹底	先進的取組事例に対する表彰	事故情報の集約に係る先進的取組事例を表彰	大学 (AD局)	保険	12
⑥	共通ルールの設定	三宅様	9 安全対策推進	先進的取組事例に対する表彰	安全対策に関する大学／競技団体による先進的取組事例を表彰	大学・ 競技団体・ 指導者	保険	12
〃	〃	〃	10 学生アスリートの意識向上	フェアプレー賞／ スポーツマンシップ賞	模範となるプレーをみせたチーム／学生アスリートを表彰	学生個人	保険	1,3,12
⑦	ガバナンスの体制構築、ハラスメントや暴力等に関する相談・対応体制の構築	戸田様	11 コンプライアンス強化	先進的取組事例に対する表彰	コンプライアンス強化に関する大学／競技団体による先進的取組事例を表彰	大学・ 競技団体	コンプライアンス強化に 取組む企業	10
〃	〃	〃	12 ダイバーシティ推進	女性・障がい者 スポーツ賞	競技成績・社会貢献等において模範となる取組みを行った女性・障がい者アスリートを表彰	学生個人・ 競技団体	障がい者支援企業、化粧品	1
〃	〃	〃	13 運動部の組織運営	先進的取組事例に対する表彰	理不尽な上下関係や部内ルールをなくした組織運営	大学 (AD局)	コンプライアンス強化に 取組む企業	3,10
⑧	指導者研修	佐藤様	14 指導者育成・意識向上	先進的取組事例に対する表彰	指導者意識向上プログラム等に関する大学による先進的取組事例を表彰	大学	保険・教育	3,12

## 【ご参考】顕彰制度案－表彰対象候補(案)③(ver1.3)

UNIVASの理念に照らして、候補として考えられる表彰対象項目案は以下のとおり。

### 15テーマに関連する表彰項目案 <事業・マーケティング関連 1/2>

#	テーマ	主査	表彰対象項目	表彰案	内容	対象者	スポンサー	理念との関連 ※2-(2)参照
⑨	大会レギュレーション・顕彰制度整備	池田純	15 大学スポーツ・大会活性化	大学対抗戦成績	年間総合ポイント上位の大学を表彰	大学	全般	4,5
"	"	"	16 競技力向上	優秀選手賞	年間通じて優れた競技成績を残した学生アスリートを表彰	学生個人	全般	4,5
"	"	"	17 国際的な活躍	国際的優秀選手賞	<ul style="list-style-type: none"> <li>• オリンピックやW杯に加え、ユニバーシアードや大学世界選手権で優秀な成績を収めた者+学業基準での表彰</li> <li>• 国際大学スポーツ連盟が開催しているFISUフォーラムに学生を派遣し、そこで活躍した学生を表彰</li> </ul>	学生個人	全般	2,4,5,16
"	"	"	18 指導力向上	優秀指導者賞	年間通じて優れた指導成果を残した指導者を表彰	指導者	全般	5
"	"	"	19 縁の下の力持ち	マネージャー表彰	クラブ・競技のサポートにおいて優れた取組事例を残したマネージャーを表彰	マネージャー	全般	4
"	"	"	20 応援文化	ベストサポーター賞	大学を挙げて加盟競技の大会への応援が盛んであった大学を表彰	大学	全般	4
"	"	"	21 大会プロモーション	競技団体取組	競技普及のための競技団体による大会プロモーションに関する先進的取組事例を表彰	競技団体	全般	4
⑩	個別データ管理・活用	境田様	22 研究成果	先進的取組事例に対する表彰	大学スポーツの活性化や競技力の向上に資するAD局による研究室等との先進的取組事例を表彰	大学 (AD局)	全般	4,5,11
⑪	シェアードサービス	小林至様	23 n/a					

## 【ご参考】顕彰制度案－表彰対象候補(案)④(ver1.3)

UNIVASの理念に照らして、候補として考えられる表彰対象項目案は以下のとおり。

### 15テーマに関連する表彰項目案 <事業・マーケティング関連 2/2>

#	テーマ	主査	表彰対象項目	表彰案	内容	対象者	スポンサー	理念との関連 ※2-(2)参照
⑫	大学SA支援、マーケティング・会計ガイドライン	佐野様	24 学内環境整備:ソフト(AD局設置・SA配置)	先進的取組事例に対する表彰	学内統括部局の設置やSA配置に関する大学による先進的取組事例を表彰	大学(AD局)	全般	10
〃	〃	〃	25 学内環境整備:ハード(グランド・スタアリ等)	先進的取組事例に対する表彰	大学スポーツの活性化のための施設整備に関する大学による先進的取組事例を表彰	大学(AD局)	全般	4~6
〃	〃	〃	26 AD局・SAによる取組	先進的取組事例に対する表彰	地域・社会貢献活動、会計の透明性確保、スポンサーとの連携、試合情報の管理・発信、キャリア支援等大学スポーツ振興に向けた大学による各種の優良取組事例を表彰	大学(AD局) SA個人	全般	4~10
〃	〃	〃	27 情報発信	大学スポーツメディア表彰	大学スポーツ新聞のコンテンツは既にあり、紙面作りなどで評価しているため、UNIVASの理念に沿う記事の掲載などを表彰	大学スポーツ新聞・放送局	全般	4
⑬	広報戦略の策定・展開	尾崎様	28 n/a					
⑭	スポンサープログラム	池田敦様	29 n/a					
⑮	組織整備	木藤様	30 n/a					

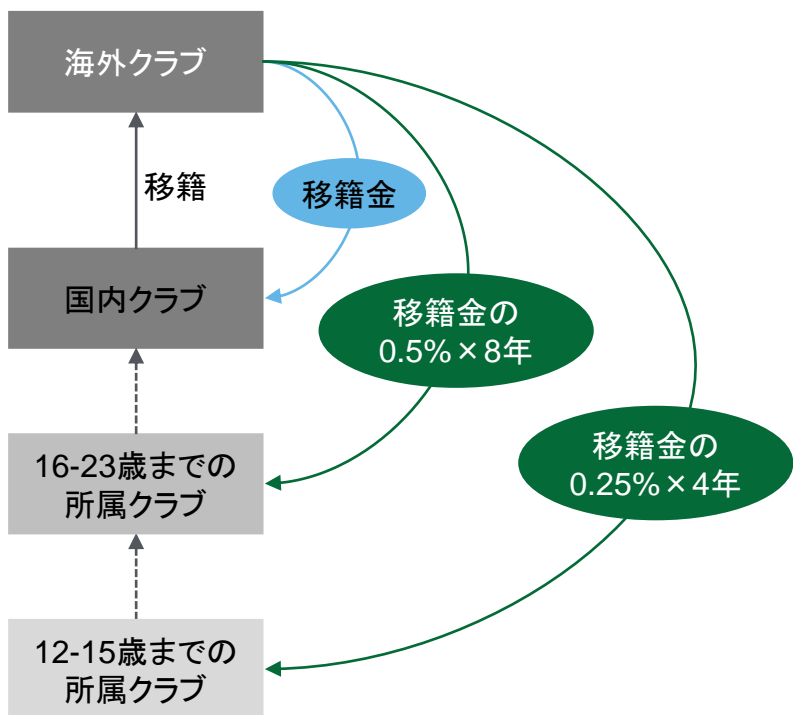


# 【ご参考】サッカー界の連帯貢献金・育成補償金制度

サッカー界では、FIFAにより、優秀な選手を育成・輩出したクラブが恩恵を得る仕組みが整備されている。UNIVASの顕彰制度の設計においても参考となり得る事例であるとする。

## 連帯貢献金制度

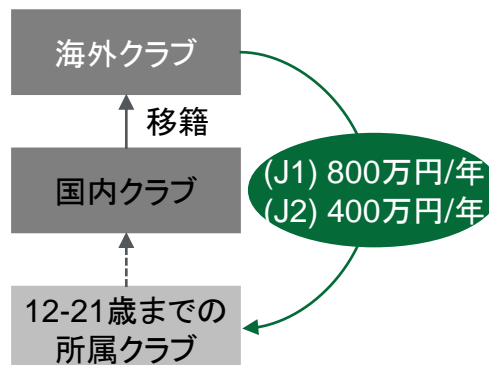
- FIFAの規定により、海外クラブに移籍をした場合に移籍金の一部をその選手を育てたクラブに還元する制度
- 12歳～23歳までに所属したチームに対して移籍金の5%が分配される



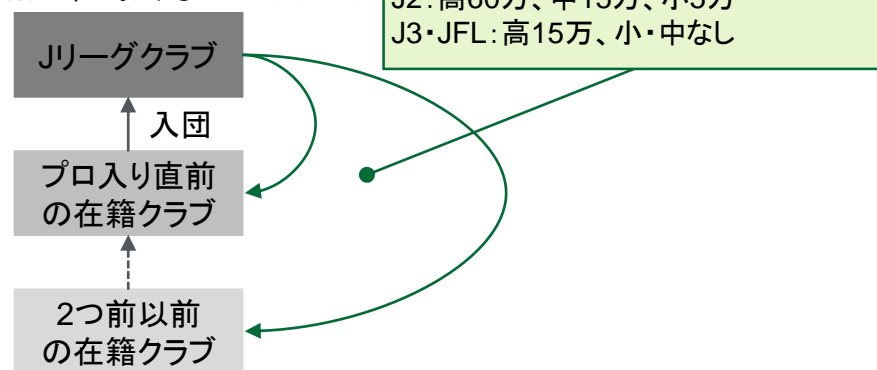
## 育成補償金・トレーニング費用制度

- 育成補償金は、FIFAの規定により、23歳以下の選手が移籍する場合に移籍先から支払われる補償金であり、12歳～21歳までの間に所属したチームの在籍年数に応じて支払われる制度
- 国別にカテゴリーに分けて支払額が規定されている

### <育成補償金制度>



### <トレーニング費用制度> ※日本におけるローカルルール



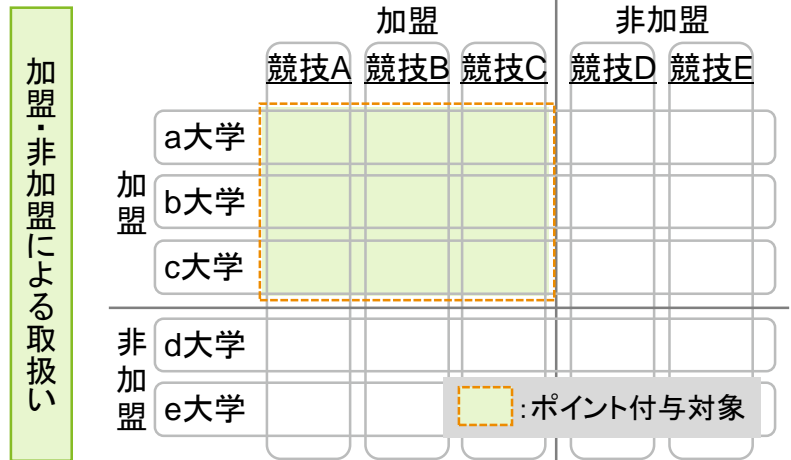
### 3-(1). 競技横断的大学対抗戦のレギュレーション(案)①(ver1.3)

本テーマでの検討対象となる  
“レギュレーション”の範囲

- ✓ ポイントの付与対象となる大学および競技団体の範囲
- ✓ 大会の開催期間(ポイントの集計対象期間)
- ✓ ポイントの付与対象とする大会の範囲
- ✓ 競技・大会ごとのポイントの配分方法(配点)
- ✓ ポイント報告・集計の仕組み
- ✓ 違反行為等に対する罰則(減点等)

#### 競技横断的大学対抗戦(既存の大会を前提としたポイント制)の基本方針(案)

前提	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>各競技団体・連盟で開催されている既存の大会の枠組みはそのままに、競技成績等に応じたポイントが付与することにより、競技横断的な大学単位の年間総合順位を示すものとする</b></li> </ul>
大会期間 (集計期間)	※1-(2)参照
参加大学	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 競技横断的大学対抗戦への参加対象は、<b>全ての加盟大学</b>とする (特に参加の意思表示を要さないこととする)</li> <li>• <b>加盟学連・NFに係る競技の大会における競技成績</b>に応じてポイントが付与する</li> </ul>
ポイント付与 の対象範囲	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 加盟学連(NF)、加盟学連の傘下にある地区学連が主催する<b>大学生のみを対象とする公式大会</b>をポイント付与の対象とする ※ポイント付与の対象とする具体的な大会については各競技団体へ一任する</li> </ul>
配点	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 次ページ案参照</li> </ul>



# 3-(1). 競技横断的大学対抗戦のレギュレーション(案)②(ver1.3)

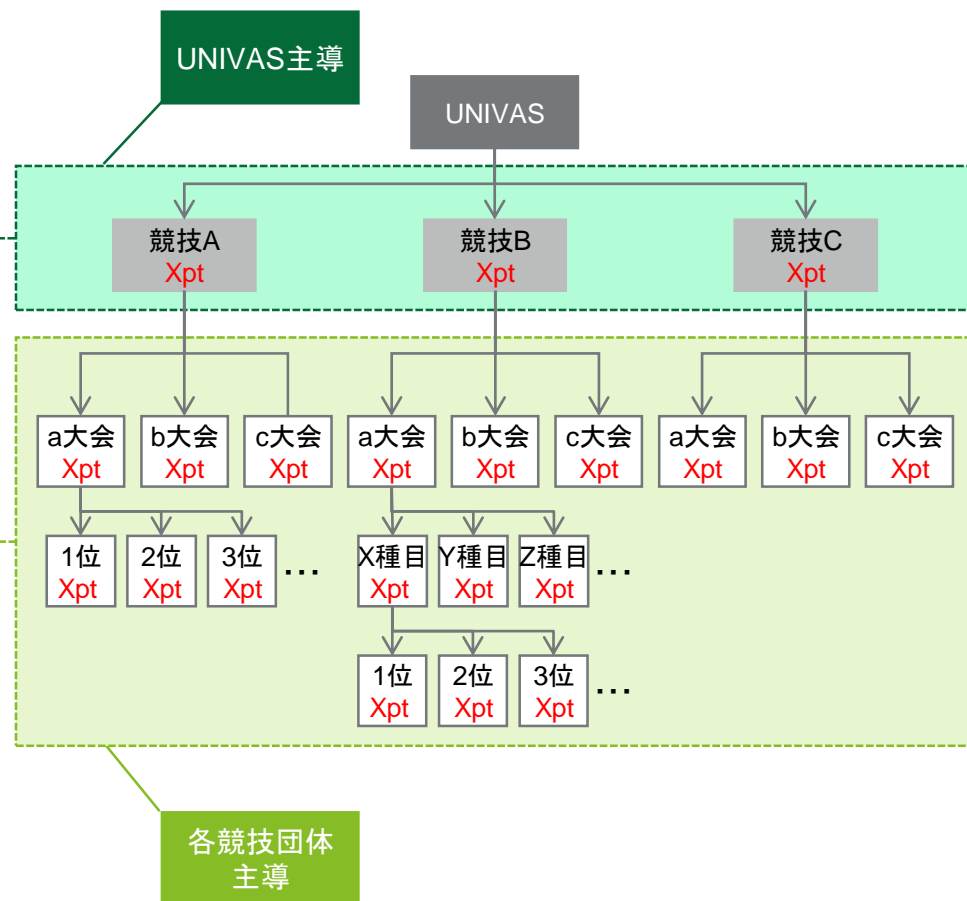
## 競技別・大会別等の配点方法(案)

**競技団体への配点**  
【手順1】

- UNIVAS(設立準備委員会作業部会)側で、毎期、各競技に付与する総ポイントを決定する
- 各競技への総ポイントの配分基準(案)
  - 加盟大学数—集計が容易である一方、加盟大学数は多いものの、競技者数が少ない競技などの事情が反映されない  
X
  - 登録競技者数(もしくは出場競技者数)—競技者数という最も公平と考えられる基準による配分が可能である一方、毎年変動する競技者数の把握が困難な場合がある(対策:前年度までの過去3年平均を基準とするなど)  
※将来的には、例えば、集客やSNSのフォロワー数等を基準にポイントを配分することも想定

**各大会・順位に応じた配点**  
【手順2】

- 各競技に割り当てられた総ポイントに対して、各個別大会における競技成績(順位)に応じた配分方法については、各競技団体へ一任する
- 毎期大会期間の開始前に、各競技団体よりUNIVASへ大会・種目・競技成績(順位)に応じた配点方法を提出する
- 各競技団体における配点方法の妥当性についてはUNIVAS側でも、全体的視点から確認を行い、場合により修正することとする



## 3-(1). 競技横断的大学対抗戦のレギュレーション(案)③(ver1.3)

### その他検討すべき事項

#	要検討項目	内容	備考
1	罰則(ペナルティー)	<ul style="list-style-type: none"><li>UNIVASの理念に反する行為の他、大会レギュレーションへの違反行為があった場合の取り扱い(減点等)について検討する</li></ul>	
2	競技成績(ポイント)の申告方法	<ul style="list-style-type: none"><li>各競技団体からポイント付与対象となる大会における競技成績や獲得ポイントに関する報告を受ける体制を整備する必要がある</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>競技成績を報告してもらえよう競技団体側への理解醸成が必要</li></ul>
3	ポイント付与方法の詳細	<ul style="list-style-type: none"><li>ポイント付与対象となる順位の中に、加盟大学と非加盟大学が混在している場合の取り扱いについて検討する</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>例・・・1位:6pt～6位:1ptという割当ての大会で、加盟大学が1位と6位であった場合 案①:純粹に順位のみでポイントを付与 →1位の大学に6pt付与、6位の大学に1pt付与 案②:加盟大学内で総ポイントを配分 →1位の大学に6pt付与、6位の大学に5pt付与</li></ul>
4	対抗戦の盛り上げのための仕掛け	<ul style="list-style-type: none"><li>競技横断的大学対抗戦がより学生他関係者から認知、注目され、盛り上がるようになるための仕掛けを整備していく必要がある</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>複数のカテゴリーによるランキング(国立・私立等の形態や学生・運動部活動数等に応じたランキングなど)</li><li>配点方法の均衡化(継続的な取組)</li><li>賞品・賞金の充実(奨学金・施設整備など)</li><li>HP等での広報・盛り上げ(迅速な速報掲載など)</li><li>ビジネス誌とのタイアップ など</li></ul>

## 3-(2). 競技横断的大学対抗戦の基準要項(案)(ver1.3)

### UNIVAS競技横断的大学対抗戦 開催基準要項 目次案

#	項目(案)	内容(案)
1	総則	• 競技横断的大学対抗戦(既存の大会を前提としたポイント制)を開催し、運営するために基準要項を定める
2	目的	• 大学スポーツの振興、競技間・運動部間の連携強化、各大学を挙げての応援文化の醸成
3	名称	• 競技横断的大学対抗戦(そのまま? UNIVASカップ?)
4	主催	• 一般社団法人大学スポーツ協会(UNIVAS)
5	開催方法	• UNIVASに正会員として加盟する各競技団体(学連・NF)で開催されている大会を対象に、競技成績等に応じたポイントを付与することにより、競技横断的な大学単位の年間の総合ポイントにより順位付けを行うものとする
6	開催期間	• 1年間(毎年2月～翌年1月が候補)
7	対象競技	• UNIVASに正会員として加盟する全ての競技団体(学連・NF)に係る競技
8	対象大会	• UNIVASに正会員として加盟する各競技団体(学連・NF)、もしくはその傘下にある地区学連が主催する大学生のみを対象とする公式大会をポイント付与の対象とする • ポイント付与の対象とする具体的な大会については各競技団体へ一任する
9	参加大学	• UNIVASに正会員として加盟する全ての大学 ※特段の手続きを必要とせず自動エントリーとする
10	配点方法	• UNIVASにおいて、每期、客観的な基準により各競技に付与する総ポイントを決定する • 各競技に割り当てられた総ポイントに対して、各個別大会における競技成績(順位)に応じた配分方法については、各競技団体へ一任する • 每期大会期間の開始前に、各競技団体よりUNIVASへ大会・種目・競技成績(順位)に応じた配点方法を提出する。全体的視点から、各競技団体における配点方法の妥当性についてUNIVAS側でチェックを行う
11	競技成績の報告方法	• 各競技団体(学連・NF)はポイントの付与対象となる大会の終了後X営業日以内に、各大会・種目の競技成績およびポイントをUNIVASへ報告する。報告方法については別に定める
12	総合成績の決定方法	• 総合成績は、ポイント付与対象となる各大会・種目における得点を合計し、その多い順に順位を決定する。但し、同店の場合は順位を共有し、その次の順位を欠位とする。
13	表彰	• 毎年X月に、前年の大会に係る表彰式を開催する。総合成績1位～X位までの団体に表彰状を授与する
14	罰則	• 適用範囲となる違反、処分内容、決定方法
15	企業協賛のガイドライン	• 協賛の概要、カテゴリー、募集、協賛金の使途、広告掲出にあたっての原則 等

### 3-(3). UNIVASの主催・共催による新規大会(案)(ver1.3)

UNIVASでは、国内の各大学・競技団体および海外の大学スポーツ統括団体等との連携により、大学スポーツの活性化や国際化などに資する新たな人気イベントの企画・調整・開催を目指していく。

#### 新規大会案

#	新規大会(案)	概要(案)
1	UNIVASカップ	<ul style="list-style-type: none"><li>競技毎のUNIVAS主催による新規大会の主催・共催 (大学・競技団体からの要望に基づく)</li></ul>
2	米国NCAAにおける優勝大学とのチャンピオンシップ・対抗戦	<ul style="list-style-type: none"><li>各競技における日本の全国選手権等の優勝大学と米国NCAAの全米選手権等の優勝大学とのチャンピオンシップもしくは対抗戦の主催・共催</li></ul>
3	英国BUCSにおける優勝大学とのチャンピオンシップ・対抗戦	<ul style="list-style-type: none"><li>各競技における日本の全国選手権等の優勝大学と英国BUCSの全英選手権等の優勝大学とのチャンピオンシップもしくは対抗戦の主催・共催</li></ul>
4	アジアカップ	<ul style="list-style-type: none"><li>各競技におけるアジア各国の優勝大学等による大学アジアNo.1を決するチャンピオンシップもしくは対抗戦の主催・共催</li></ul>
5	東・西大学選抜オールスターゲーム	<ul style="list-style-type: none"><li>各競技における東・西大学の優秀・有望選手が集められたチーム同士による対抗戦の主催・共催</li></ul>
6	競技レベルに応じた全国大会	<ul style="list-style-type: none"><li>各競技におけるトップレベルの大学・選手だけではなく、それぞれの競技レベルに応じた全国大会の主催・共催 (例:全国各リーグにおける2部リーグの優勝校同士の全国大会)</li></ul>
7	出場機会の少ない選手同士の大会	<ul style="list-style-type: none"><li>大学スポーツの競技レベル向上や活性化を目的に、各クラブにおいて出場機会の少ない選手同士による大会の主催・共催 (プロ野球におけるフェニックスリーグのような大会)</li></ul>

# 【ご参考】国民体育大会のレギュレーション①

## 総合成績決定方法

各正式競技の男女総合成績及び女子総合成績は、次の競技得点及び参加得点を合計し、その多い順に順位を決定し、第1位から第8位まで表彰する。ただし、同点の場合は、順位を共有し、その次の順位を欠位とする。

各競技会の総合成績は、競技団体が決定するが、天候その他の事情により一部競技が中止になった場合は、当該競技団体と大会総務委員会が協議する。

### 1) 競技得点

競技得点は、次の2種類とし、第1位から第8位までの都道府県に与える。ただし、同順位の場合の競技得点は、次順位のものに加え、当該都道府県で等分し、割り切れない場合は小数第3位以下を切り捨てる。

		1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
種別 (団体競技)	4人以下	24点	21点	18点	15点	12点	9点	6点	3点
	5人以上7人以下	40点	35点	30点	25点	20点	15点	10点	8位
	8人以上	64点	56点	48点	40点	32点	24点	16点	8点
種目 (個人競技・ 個人種目)	---	8点	7点	6点	5点	4点	3点	2点	1点

### 2) 参加得点

参加得点は10点とし、その基準を下記のとおりとする。

- ① 都道府県が大会に直接エントリーする競技については、参加種別数にかかわらず、大会の参加をもって得点を与える。
- ② ブロック大会を経て参加する競技については、ブロック大会を大会参加とみなし、得点を与える。ただし、ブロック大会で大会の出場権を獲得しながら、大会に参加しなかった場合は与えない。

## 【ご参考】国民体育大会のレギュレーション②

### 大会の実施競技

#### 実施対象競技(第74～77回大会)

1) 正式競技(41 競技)	① 毎年実施競技(39 競技) [本大会] 陸上競技、水泳、サッカー、テニス、ボート、ホッケー、ボクシング、バレーボール、体操、バスケットボール、レスリング、セーリング、ウエイトリフティング、ハンドボール、自転車、ソフトテニス、卓球、軟式野球、相撲、馬術、フェンシング、柔道、ソフトボール、バドミントン、弓道、ライフル射撃、剣道、ラグビーフットボール、スポーツクライミング、カヌー、アーチェリー、空手道、なぎなた、ボウリング、ゴルフ、トライアスロン [冬季大会] スキー、スケート、アイスホッケー	② 隔年実施競技(2 競技) [本大会] 銃剣道、クレール射撃
2) 公開競技(5 競技)	[本大会] 綱引、武術太極拳、パワーリフティング、ゲートボール、グラウンド・ゴルフ	
3) デモンストレーションスポーツ	開催県が希望する競技	
4) 特別競技	[本大会] 高等学校野球	



## 【ご参考】国民体育大会のレギュレーション③

### 表彰

総合表彰	
1	冬季大会及び本大会で実施した全正式競技の男女総合成績第1位の都道府県に天皇杯を、女子総合成績第1位の都道府県に皇后杯を授与する。
2	男女総合成績及び女子総合成績第1位から第8位までの都道府県に、それぞれ表彰状を授与する。
3	総合成績決定方法は、別に細則第5項第1号で定める。

競技別表彰	
1	正式競技ごとに、男女総合成績第1位の都道府県に、大会会長トロフィーを授与する。
2	男女総合成績及び女子総合成績第1位から第8位までの都道府県に、それぞれ表彰状を授与する。
3	各種別及び種目の第1位から第8位までに、賞状を授与する。
4	総合成績決定方法は、別に細則第5項第2号で定める。

	大会の充実・発展並びにスポーツの普及・向上に努め、その実績が顕著な都道府県又は個人に対しては、特別に表彰することができる。
--	---

# 【ご参考】国民体育大会のレギュレーション④

## 罰則

### 第1章 総則

#### 第1条 規程の対象となる違反

この規程は、国民体育大会(以下「国体」という。)において次の違反が発生した場合の手続き及び処分内容等について定める。

(1)参加資格に係る違反(以下「参加資格違反」という。):国体開催基準要項細則第3項に係る違反

(2)アンチ・ドーピング規則に対する違反(以下「ドーピング規則違反」という。):公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構(以下「JADA」という。)が定める日本アンチ・ドーピング規程第2条に定める内容に係る違反

#### 第2条 適用範囲

原則として、違反を犯した当該選手・監督等(以下、「当該者」という)・チームに対して本規程を適用する。

ただし、違反の内容及び違反に至った経過において、明らかに意図的あるいは計画的で悪質と判断した場合は、当該者の所属する当該都道府県体育(スポーツ)協会「以下「都道府県体協」という」及び当該中央競技団体に対して、本規程第5条、第8条、第11条に定める内容のほかに、別途処分を課することができる。

### 第4章 競技順位等の取り扱い

#### 第11条 競技順位・得点及び参加得点

1. 本規程第5条の1、第8条の2及び第10条の2に定める違反が確定し、当該者・チームの成績が抹消された場合、順位を確定することができる範囲内において順位を繰り上げ、あらためて競技順位・得点等を確定する。

2. 前項の措置により、当該都道府県からの選手・チームの競技会参加(ブロック大会を含む)が皆無となった場合、その競技における参加得点を抹消する。

3. 競技順位等を訂正する場合は、以下のとおり取り進める。

(1) すみやかに競技順位・得点等を確定し、公表する。

(2) 各競技会の順位に変更が生じた場合、順位が確定できる競技について、当該者(チーム)に賞状を授与する。

(3) 各競技会、男女総合及び女子総合成績の各1位から8位までの都道府県順位に変更が生じた場合、改めて表彰状を授与する。

出所: 国民体育大会における違反に対する処分に関する規程